

研修目的

高齢者の健康問題および保険行政への理解深め、リハビリテーションを実践する能力（診断、治療、支援、態度）を修得することを目的とする。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

※習得することで診療科の研修を修了できます。習得できていないと評価を受けた場合は、研修期間が延長となります。

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）
 - ・患者やその家族に共感的な態度で接し、患者の障害に寄り添うことができる
- B. 資質・能力
 - ・高齢患者の病態を理解できる
 - ・「活動を育む医学」としてのリハビリテーションの意義を理解できる
 - ・疾患別リハビリテーションの特徴を理解できる
 - ・義肢装具の処方を理解できる
- C. 基本的診療業務
 - ・身体所見・神経学的所見がとれ、評価ができる
 - ・病歴だけでなく生活環境も聴取することができる
 - ・担当症例のプレゼンテーションできる
 - ・嚥下障害のスクリーニングができる

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム）
 - ・リハビリテーション医療チームのリーダーシップをとれる。
- B. 資質・能力
 - ・関連学会学術集会での発表、英語論文の作成できる。
- C. 基本的診療業務
 - ・指導医と共に心肺運動負荷試験を行い、心臓リハビリテーションの処方ができる。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

ローテーション終了時に研修内容を振り返り、次のローテーション先で何を学ぶべきかなど話し合う時間を設ける。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	8:30～9:00 病棟回診 10:30～11:30 嚥下機能 評価	13:30～16:00 病棟業務 13:30～14:30 心肺運動負 荷試験	
火	8:30～9:00 病棟回診 10:30～11:30 嚥下機能 評価 11:00～11:30 装具診	13:30～16:00 病棟業務 14:00～14:30 嚥下機能検 査	
水	8:30～9:00 病棟回診 9:00～9:30 リハビリ科	9:00～9:30 他科リハビリ 患者カンファレンス	

	入院患者カンファレンス 10:30～11:30 嚥下機能評価	13:30～16:00 病棟業務 13:30～14:30 心肺運動負荷試験	
木	8:30～9:00 病棟回診 10:30～11:30 嚥下機能評価	13:30～16:00 病棟業務 14:00～14:30 嚥下機能検査	15:00～16:00 嚥下カンファレンス
金	8:30～9:00 病棟回診	13:30～16:00 病棟業務 13:30～14:30 心肺運動負荷試験	

指導責任者および指導医

指導責任者： 伊藤 修 (リハビリテーション科)
指導医： 小川 佳子 (リハビリテーション科)
指導医： 高橋 麻子 (リハビリテーション科)

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医が発表のための文献検索、スライド作成、プレゼンテーションなどの指導を行う。